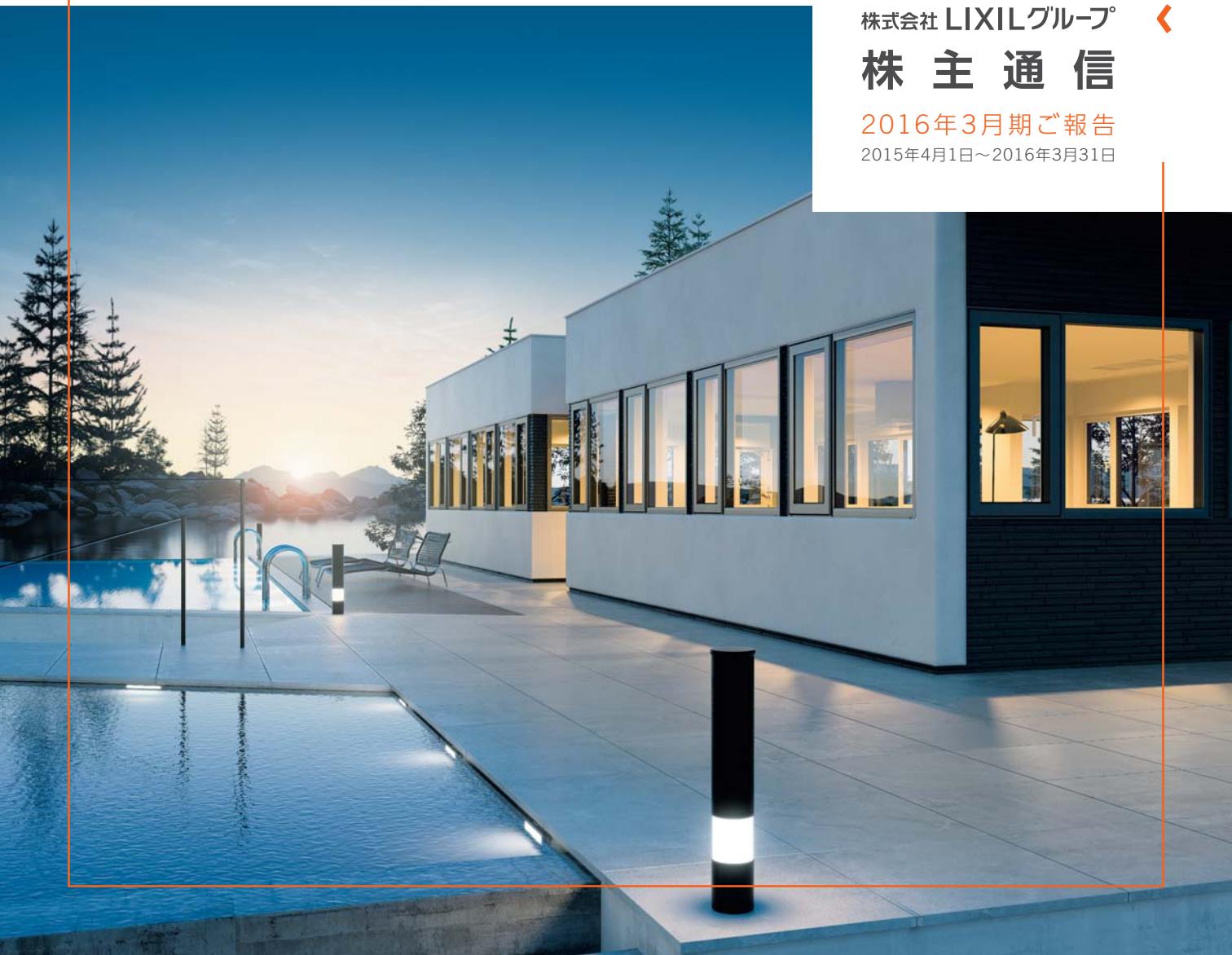


株式会社 LIXILグループ

# 株 主 通 信

2016年3月期ご報告

2015年4月1日～2016年3月31日



## Contents

取締役会議長ごあいさつ ……	02	セグメント情報 ……	14
新社長メッセージ ……	03	株主メモ・お問い合わせ先 ……	18
特集 ……	07	アンケート ……	19
新商品・新技術のご紹介 ……	09	株式の状況 ……	21
トピックス ……	11	会社概要 ……	22
営業報告 ……	13	株主優待のお知らせ ……	裏表紙

# LINK TO GOOD LIVING



ごあいさつ



取締役会議長

潮田 洋一郎

株式会社LIXILグループは、CEOに瀬戸欣哉を迎えましたことをご報告申し上げます。

藤森義明のリーダーシップでの5年間で、当社グループは意図した通り一気に多国籍化を果たしました。その先の課題を見据えて、指名委員会は一昨年の後半から、次の経営者の検討を始めました。求めた3つの要件は、①多国籍に展開する全事業の掌握度を高め、シナジーを更に産みだしながらリスクを排除すること。②IoT技術を駆使して技術革新をもたらすこと。③起業家精神をもう一度組織の細部にまで吹き込むこと、でした。

指名委員は、数人の候補者と面談しながら人選を進め、その結果、一致して起業家精神に溢れる瀬戸欣哉氏を迎えることに決定しました。彼は前職で新しいビジネスモデルの開発と起業に成功し、高収益な経営を定着させて、会社を上場させた実績があります。そのエネルギーで緻密な経営姿勢で、当社グループを

一段の高みに導くことを確信します。

百数十カ国での事業展開は、チャンスの拡大とともにリスクの増加でもあります。事業ポートフォリオの多様化で成長機会を捉え、経営を一層安定させる方向に、取締役会はガバナンスを利かせてまいります。この6月の株主総会を機に、これまで取締役を務めてまいりました数土文夫氏、藤森義明氏、筒井高志氏の3名は退任いたしました。代わりに、社外からはマッキンゼー社での仕事を通して豊富な経営革新経験を持つ山梨広一氏、そして社内から元INAX社長の川本隆一と、LIXILハウジングテクノロジーCEOの井植敏雅を取締役と致します。これからの取締役会は、社外取締役の懇談会や社長との意見交換会を催すなど、一層の事業理解と課題共有によって、論議の充実をはかります。株主の皆さまには、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。





### 瀬戸欣哉プロフィール

1960年6月生まれ  
1983年 東京大学経済学部卒業後、住友商事(株)に入社  
2000年 住商グレンジャー社(現(株)MonotaRO)を設立  
(株)MonotaROを含め国内外で11社を創業  
2001年 (株)MonotaRO代表取締役社長  
2012年 同社取締役代表執行役会長  
2014年 同社取締役会長(現任)  
2016年1月 (株)LIXILグループ代表執行役 兼COO(兼)  
(株)LIXIL代表取締役社長 兼CEO  
2016年6月 (株)LIXILグループ取締役代表執行役社長 兼CEO(兼)  
(株)LIXIL代表取締役社長 兼CEO

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

瀬戸欣哉

## 世界で最も企業価値が高く、 革新的で信頼される リビングテクノロジーカンパニーを目指します。

6月15日の株主総会での承認および同日の取締役会の決議で、株式会社LIXILグループの取締役代表執行役社長兼CEOとなりました、瀬戸欣哉です。私はこれに先立ち、今年1月に株式会社LIXILグループの代表執行役兼COOおよび株式会社LIXIL代表取締役社長兼CEOとなりました。

### LIXILで最初に社員に伝えたこと

就任して最初に、グループ社員の皆さんに伝えたことは、この会社を「社員が楽しく幸せに働いて、会社に誇りが持てるようにする」ということです。そのために重要なことは、以下の3つです。

## 1. お互いに敬意を持つ

これは、私がなによりも重要だと考えているテーマです。人に対して、礼儀以上の「敬意」を持つためには、まずは相手を理解する、理解しようと努めることが必要です。そして、そのために不可欠なのが、コミュニケーションです。

## 2. 新しいアイデアの実験とリスクを取る

新しいアイデアは、まず小さな規模で実験します。実験するときには、あらかじめ範囲を決め、「ここまでだったら失敗していいよ」と明示します。もし失敗しても、故意や悪意からのものでなければとがめることはしません。なぜなら、失敗から学ぶことができれば、正しい方向を導き出すことにつながっていくからです。会社にとって、失敗を投資として捉える視点が重要で、そこから生まれる創造性は、会社をより強靱なものにしてくれます。

また、失敗を恐れずに実験ができれば、社員の皆さんも新しいことに意欲的に挑戦し、より仕事が楽しめるようになるでしょう。

## 3. 客観的・科学的に判断し、システム化する

ビジネスのアイデアを判断するときは、個人の見解に基づくのではなく、客観的で科学的な見方をするべきだと考えます。

データなどによってもたらされた事実をベースにした思考は、個々の捉え方や思考の傾向によってぶれることがなく、誰もが同じ軸で判断を下せるからです。

## 最初の100日間

1月の就任から100日間、私がまず行ったのは、国内外の従業員やその他主要ステークホルダーを訪問し、話をじっくりと聞くことです。10カ国(日本、アメリカ、イタリア、ドイツ、南アフリカ、中国、ベトナム、タイ、シンガポール、メキシコ)、25カ所以上のLIXILの拠点を訪問し、600人以上の経営層・上級管理職層と一対一の面談を実施しました。また、従業員とのタウンホールセッション(対話集会)を20回以上実施しました。皆さんの意見を傾聴し、当社の優先課題や懸念点を把握してきました。

## 当社の優先課題

傾聴の結果、確認できたのは、LIXILはメーカーであり、メーカーとして差別化された価値を実現しなければ持続的な成長は困難だということです。特に日本という成熟した市場に我々の売上の2/3

を依然として持つ以上、新しい市場を開拓できる製品とサービスに力を入れることが肝要と痛感しました。当社は2011年に国内の主要な住設建材メーカー5社が統合し、M&Aを通じて成長のためのグローバル基盤を確立させてきました。2013年にはアメリカで衛生陶器シェア第1位のアメリカンスタンダード・ブランドを連結化し、2014年には世界最大手の水栓金具メーカーのグローエに出資し、2015年4月には連結子会社化し、アメリカ・欧州での事業プラットフォームを手に入れることができました。その結果、2011年3月期には売上高1兆2,000億円・海外売上高比率3%だったのが、2016年3月期には売上高1兆8,000億円、海外売上高比率30%となりました。

急激な成長の一方、買収した会社との統合および価値の実現については後回しとなった感がありました。その中で、買収したグローエの子会社でドイツのフランクフルト証券取引所に上場していたジョウユウの不正会計が2015年4月に発覚し、その後同社が破産したことに伴い、当社は2014年3月期からの3年間で約660億円の損失を計上しました。また、この急成長の過程で組織が肥

### グループ全体での優先課題

#### LIXILグループ全体での 経営効率の改善

- 本社費用の低減
- 財務体質の強化

#### 買収した会社との統合と シナジー効果の最大化

#### ガバナンスや 効率性改善のため 組織のフラット化

### フラット・シンプル・意思決定の速い組織

### コンプライアンスやガバナンスの効いた組織にするためにM&A後の統合を強化

大化してコストが上がり、コミュニケーションが悪くなった側面は否定できません。かつての単一業種・単一市場での効率やガバナンスの強さからは遠ざかってしまいました。

そこで、グループ全体の優先課題として、上の図のように「フラット・シンプル・意思決定の速い組織」「コンプライアンス（法令遵守）やガバナンスの効いた組織にするためにM&A後の統合を強化する」を掲げました。

### 国内の優先課題

当社は今まで海外子会社の買収が大ききな話題となってきましたが、国内市場に

ついては、現在においても当社の利益の源泉であり最重要市場です。商品優位性や高い品質によって、人口減少で市場が縮小すると言われている国内でも成長が可能だと信じています。そして、成功のためにはメーカーならではの實力・能力を発揮することが必須です。

現状ではLIXIL製品が、他社製品とは十分な差別化ができていないと言えます。また、特有の価値を求める消費者や意思決定に最も影響を与える工事業者さまとのコミュニケーション不足によりLIXILの認知度がまだまだ低い状態です。さらに、当社の商品のラインナップに一貫性がないため、お客さまに真のLIXILの価値をご理解いただけてい

ないのではないかと考えています。

そこで、この解決手段の一つとして、開発・製造・販売促進で一貫したテーマを設定し、商品開発の重要なポイントとして「簡単施工・施工時間短縮」を掲げました。

日本ではリフォームの潜在需要はあるのに、各住設建材メーカーの売上が増えない理由の一つに、工事業者さまの不足があると言えます。この不足を補うためにメーカーとして貢献できるのが、簡単施工・施工時間短縮です。

また、ブランド価値を遡及する販売促進活動、ITシステムの導入による効率改善も進めていきます。

## 2017年3月期の予想

右の表に、2016年3月期実績と2017年3月期の予想を掲載しています。当社は2016年3月期の有価証券報告書から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用するため、今期予想よりIFRSでの数字で業績予想を出しています。

売上高は、IFRSベースで前期比1%減の1兆8,800億円を見込んでいます。これは、事業売却の影響(建デポ事業の分社化・ビル事業の上海美特カーテンウォール社の売却など)で344億円減、為替が円高に振れる予想から290億円減を見ており、これらの要因を除くと実質的な成長は3%を見込んでいます。

事業利益(日本会計基準での営業利益と同じ定義)については、同4%増の730億円を見込んでいます。販管費で、マーケティング費用やIT費用の増加を計画に入れており、また、国内外の不透明な経営環境に鑑みて、市場リスクとして100億円を引いています。親会社の所有者に帰属する当期利益については、黒字回復を見込んでいます。

株主の皆さまには、当社グループへの温かいご支援のほど、宜しく願い申し上げます。

## 2016年3月期 連結業績・2017年3月期 業績予想

(単位:億円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期実績		2017年3月期予想	
		実績	前期比	予想	前期比 <sup>※3</sup>
売上高	16,734	<b>18,451</b>	10.3%	18,800	△ 0.6%
事業利益 <sup>※1</sup>	517	<b>563</b>	8.9%	730	4.1%
当期純利益 <sup>※2</sup>	220	<b>△ 187</b>	—	280	—
会計基準	日本会計基準 (J-GAAP)			国際財務報告基準 (IFRS)	

※1 J-GAAPでは営業利益、IFRSでは事業利益。どちらも定義は「売上高-売上原価-販管費」。

※2 J-GAAPでは親会社株主に帰属する当期純利益、IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益。

※3 2016年3月期のIFRS実績 売上高18,905億円・事業利益701億円に対する比率。

## 2016年3月期業績について (日本会計基準)

売上高は、グローエが第2四半期から新規連結となったことに加え、国内リフォーム事業の伸長や、水回り・ビルの既存海外事業が貢献し、10.3%の増収となりました。

営業利益は、円安や資材価格高騰によるコストアップや、国内の金利低下に伴う退職給付債務の数理計算上の差異108億円の発生、海外ビル事業における不採算物件への貸倒引当金の繰入があったものの、グローエの新規連結による200

億円の増益要因や、コスト削減、売価改善によって、8.9%の増益となりました。

特別損失として、グローエの子会社であったジョウユウの保証債務を履行したことによる関係会社投資関連損失279億円や、グローエの連結に関わる為替差損を「段階取得に係る差損」として63億円などを計上しました。ジョウユウ関連の損失に対し追加回復・入金を最大化を目指し、損失の確定を行わず当期での繰延税金資産の計上を見送ったことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は赤字となりました。

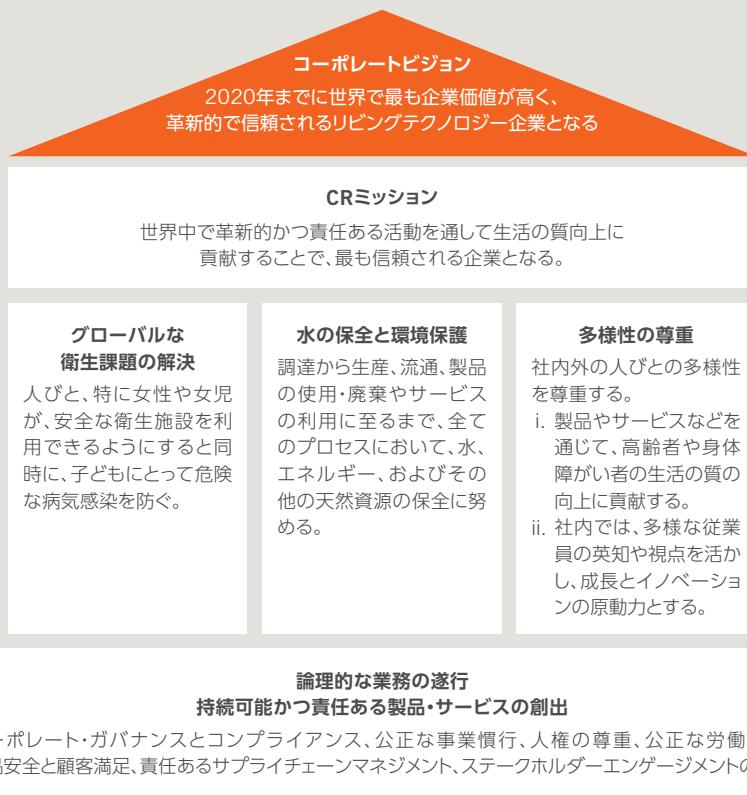
# 新コーポレート・レスポンスビリティ(CR)戦略を設定

## 2030年までに、環境負荷ネットゼロを目指す環境ビジョンを策定

### コーポレート・レスポンスビリティ戦略

LIXILグループでは、住まいや職場といった生活環境が、人びとが日々健康に暮らす上で、最も大切だと考えています。そのため、責任ある持続可能なイノベーションを追求し、安全性や快適性を提供する製品やサービスを開発することで、ビジネスの成長を人びとの暮らしの質の向上に確実に結びつけてまいります。LIXILの4つの中核事業であるウォーター、ハウジング、ビルディングおよびキッチンのテクノロジー事業の専門知識や規模を活かし、事業を展開する地域への関連性や緊急性が高い世界の課題の中から3つの分野に焦点をあて、取り組みをグローバルに進めています。

#### LIXILグループのコーポレート・レスポンスビリティ戦略



 <http://www.lixil.com/jp/sustainability/vision/responsibility.html>

## LIXILグループ環境戦略

LIXILグループは、水の保全や環境保護などの環境課題を経営の最重要課題の一つと認識し、リビングテクノロジー企業として製品・サービスを通じて社会課題の解決に貢献する環境戦略を推進します。

### 環境ビジョン2030

地球温暖化対策のために、今世紀末までに温室効果ガスの人為的な排出と生態系の吸収をバランスさせるという長期目標がパリ協定で示されました。このゼロ・バランスされた社会の実現に貢献すべくLIXILグループは新たな環境ビジョンを策定しました。2030年までに、技術革新による低炭素・節水といった「製品・サービスによる環境貢献」が、原材料調達から製造、製品の使用と廃棄などサプライチェーン全体の「事業活動による環境負荷」を超える「環境負荷ネットゼロ(±ゼロ)」を実現します。



### 環境戦略重点テーマ

環境ビジョンを実現するために、次の3項目を環境戦略重点テーマとして掲げ、具体的な目標・施策を設定し、着実に活動していきます。

- 1 気候変動の緩和と適応
- 2 水資源の保全
- 3 持続可能な資源の利用

### 環境方針

従業員の行動の指針として、次の5項目を環境方針として策定しました。私たちは、持続可能な社会の実現のため、製品・サービスや事業プロセスのライフサイクル全てを通して、地球環境に配慮し、責任を持って行動します。

- 1 環境マネジメントシステムの継続的改善
- 2 コンプライアンスの徹底
- 3 環境に配慮した製品・サービスの開発と普及
- 4 事業のあらゆるプロセスにおける環境負荷の低減
- 5 積極的なコミュニケーションの推進



LEGARIS

高性能窓 レガリス

## 高性能を追求した革新的な商品で 快適な暮らしをお届けします



新商品

### 世界最高峰の高性能窓「レガリス」、 高性能ハイブリッド窓「サーモスL」を発売

「レガリス」は、世界初<sup>\*1</sup>「高性能5層ガラス」と断熱性と耐久性を向上させた「高性能フレーム」の採用により、世界最高峰<sup>\*2</sup>となる断熱性能(熱貫流率)<sup>\*3</sup>を実現しました。「サーモスL」は、当社の最大のボリュームゾーンである複層ガラス入りアルミ窓の地域に向けたアルミと樹脂の高性能ハイブリッド窓です。高い断熱性能を実現しながら、一般的なアルミ窓(複層ガラス)と同等の価格でご提供します。

※1・2 2016年1月20日現在 LIXIL調べ

※3 0.55W/m<sup>2</sup>・K、縦すべり出し窓(TF)16513 レガリス専用5層ガラス(透明タイプ)社内試験値



[http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/010\\_door\\_0120\\_01.html](http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/010_door_0120_01.html)

[http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/010\\_door\\_0407\\_01.html](http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/010_door_0407_01.html)

新技術

## “水のチカラで、ずっと輝く” 世界初の衛生陶器 「アクアセラミック」誕生

「アクアセラミック」は、「汚物」と「水アカ」の汚れを同時に防ぐという新たな性能と、「キズ汚れ」「細菌汚れ」を防ぐという従来の性能をあわせ持つ、世界初<sup>※4</sup>の衛生陶器です。汚物汚れを水のチカラで浮かして流す「超親水性」と、「水アカ」の固着を防ぎ、陶器の黒ずみの悩みを解消する新技術が特長です。主要住宅トイレシリーズに展開していくほか、陶器製の水回り商品へも活用してまいります。

※4 2016年2月23日現在 LIXIL調べ

# 100年クリーン AQUA CERAMIC



[http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/020\\_water\\_0223\\_01.html](http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/020_water_0223_01.html)





LIXILとグローバル・パートナー契約を結んでいるプロテニスプレーヤーの錦織圭さん／LIXILの2020年に向けたスローガン

## ▶ (株)LIXILが「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」ゴールドパートナーに決定



LIXIL



東京2020ゴールドパートナー（住宅設備部材&水回り備品）

株式会社LIXILは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会スポンサーシッププログラムの国内最高水準「東京2020ゴールドパートナー」の契約を、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と締結しました。これは住宅設備部材&水回り備品カテゴリーとして初めてとなります。LIXILがこの祭典に積極的に協賛し、活力と感動を世界の人々と分かち合えることは大変に光栄です。

東京2020大会では、多様なステークホルダーが連携してレガシーを残すためのアクションを推進していくために、「スポーツ・健康」、「街づくり・持続可能性」、「文化・教育」、「経済・テクノロジー」、「復興・オールジャパン・世界への発信」の5本の柱を設けています。LIXILはこの中でも特に「街づくり・持続可能性」について、「ユニバーサル社会の実現」などで誰もが安全で快適に生活できる街づくりに、住宅設備部材&水回り備品で貢献していきます。

# ➤ オールLIXIL 無金利リフォームローン キャンペーン実施中

株式会社LIXILでは、LIXILのリフォーム加盟店組織やリフォーム会社紹介サイトにおいて、「オールLIXIL 無金利リフォームローンキャンペーン」を2016年12月末まで実施しています。

期間中、キッチン、バスルーム、トイレなどのLIXIL対象商品をご採用いただいたリフォーム工事において、お施主さまのリフォームローン金利手数料をLIXILが全額負担<sup>※</sup>するものです。ぜひ、この機会に、リフォームをご検討ください。

※ ローンの融資金額は20万円以上2,000万円以下、支払回数は最大60回まで。

キャンペーンの概要・ご利用条件・対象商品については、4月27日のLIXILニュースリリースまたは右下「お問い合わせ先」でご確認ください。

 [http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/090\\_showroom\\_0427\\_02.html](http://newsrelease.lixil.co.jp/news/2016/090_showroom_0427_02.html)

対象となるリフォーム工事は、以下の全国の加盟店のうち、セディナ加盟店となります。

- **LIXILリフォームショップ** (<http://lixil-reformshop.jp/>)  
25年を超える実績の、LIXILが認める安心のリフォームフランチャイズチェーン。
- **LIXILリフォームネット** (<http://www.lixil-reform.net/>)  
LIXILが応援する国内最大級のリフォーム店ネットワーク。
- **リフォームコンタクト** (<http://reform-contact.com/>)  
全国約850のリフォーム店からリフォーム会社を選べるWebサービス。匿名で見積依頼ができ、仲介手数料がかからないので、安心です。



**LIXIL** 特報!

いつかはリフォームしたいけど、手元資金がないし…

できるだけ貯金は切り崩したくないわ…

**リフォーム資金が気になる方に、朗報です!**

リフォームローン **金利0%** キャンペーン

期間限定! 2016年5月1日~12月31日ローン申込みまで

分割払い最長 **60回** OK!

LIXILの商品をおトクにおトクにリフォーム!

ぜひ、この機会をお見逃しなく!

## お問い合わせ先

オールLIXIL  
無金利リフォームローン  
キャンペーン事務局  
E-mail : [lixil\\_loan\\_cp@lixil.com](mailto:lixil_loan_cp@lixil.com)

# 営業報告

## 主な経営指数の推移〈連結〉

	当期 自2015年4月 1日 至2016年3月31日	前期 自2014年4月 1日 至2015年3月31日	前期比 比率(%)／差額
売上高(百万円)	<b>1,845,117</b>	1,673,405	10.3
営業利益(百万円)	<b>56,259</b>	51,674	8.9
経常利益(百万円)	<b>48,421</b>	57,862	△ 16.3
当期純利益※(百万円)	△ <b>18,664</b>	22,012	—
純資産(百万円)	<b>637,517</b>	613,651	3.9
総資産(百万円)	<b>2,060,873</b>	1,875,249	9.9
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	<b>137,012</b>	138,931	
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	<b>16,547</b>	△ 129,228	
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ <b>171,758</b>	10,009	
現金及び現金同等物の当期末残高(百万円)	<b>138,801</b>	160,377	△ 13.5
自己資本比率(%)	<b>26.4</b>	32.1	△ 5.7
自己資本当期純利益率[ROE](%)	△ <b>3.3</b>	3.7	△ 7.0
1株当たり当期純利益[EPS](円)	△ <b>65.11</b>	75.46	—
1株当たり純資産[BPS](円)	<b>1,894.55</b>	2,104.27	△ 209.72
1株当たり年間配当金(円)	<b>60</b>	60	0

※親会社株主に帰属する当期純利益

### 売上高・ 営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
■ 営業利益(右軸)



### 純資産・ ROEの推移

(単位：億円／%)

■ 純資産(左軸)  
○ ROE(右軸)

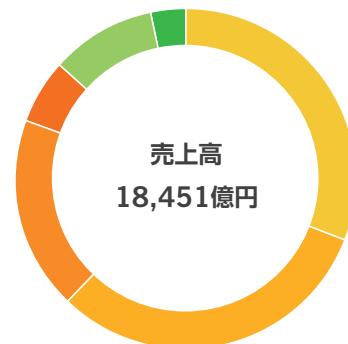


## セグメント情報

### セグメント別の営業状況

	当期 (億円)	前期 (億円)	前期比 (%)
<b>売上高</b>	<b>18,451</b>	16,734	10.3
ウォーターテクノロジー事業	<b>5,864</b>	4,109	42.7
ハウジングテクノロジー事業	<b>5,868</b>	5,967	△ 1.7
ビルディングテクノロジー事業	<b>3,468</b>	3,338	3.9
キッチンテクノロジー事業	<b>1,127</b>	1,131	△ 0.4
流通・小売り事業	<b>1,888</b>	1,988	△ 5.1
住宅・サービス事業等	<b>616</b>	596	3.4
(調整額)	<b>△ 379</b>	△ 394	—
<b>営業利益</b>	<b>563</b>	517	8.9
ウォーターテクノロジー事業	<b>599</b>	291	105.7
ハウジングテクノロジー事業	<b>313</b>	368	△ 15.0
ビルディングテクノロジー事業	<b>△ 14</b>	97	△ 114.3
キッチンテクノロジー事業	<b>14</b>	△ 10	—
流通・小売り事業	<b>81</b>	71	13.7
住宅・サービス事業等	<b>38</b>	42	△ 9.8
(調整額・のれん償却・取得原価)	<b>△ 468</b>	△ 343	—

### 売上高内訳(当期)



ウォーターテクノロジー事業	31.1%
ハウジングテクノロジー事業	31.2%
ビルディングテクノロジー事業	18.4%
キッチンテクノロジー事業	6.0%
流通・小売り事業	10.0%
住宅・サービス事業等	3.3%

## セグメント情報

### ウォーターテクノロジー事業

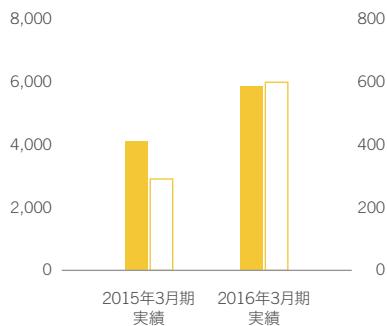


グローエの新規連結効果に加え、新商品投入によりアメリカンスタンダード・ブランドの北米事業や海外での販売が好調に推移したことや、マンションリフォーム用にラインナップを追加したシステムバスルーム「スパージュ」(写真)の拡販が奏功したことなどから、売上高は42.7%の増収となりました。営業利益はグローエの新規連結の影響により200億円の増益となったこともあり、2.1倍の増益となりました。

#### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



### ハウジングテクノロジー事業

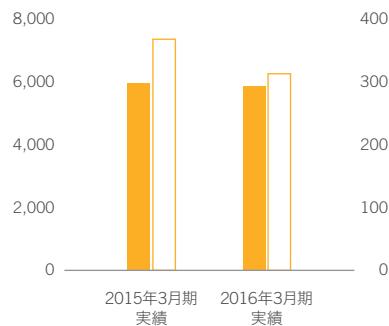


高断熱と美しいデザインを実現した高性能樹脂窓「エルスターS」などの拡販に努めたものの、新築需要低迷の影響などから売上高は1.7%の減収となりました。売価改善があったものの、為替影響、資材価格の高騰や退職給付債務に係る営業費用の増加があったことなどから営業利益は15.0%の減益となりました。(写真:内装機能建材「エコカラットプラス」の2016年4月発売の新シリーズ「フェミーナ」)

#### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



## ビルディングテクノロジー事業



## キッチンテクノロジー事業



ペルマスティリーザの米国や英国での受注増が寄与し売上高は3.9%の増収でしたが、中東及び中国経済の減速などにより一部の物件での採算悪化や回収不能と見込まれる長期請負工事に係る債権に対して貸倒引当金を計上したことなどにより営業損失となりました。より高い収益性と成長性を確保する効果的なポートフォリオを確立する戦略に基づき、子会社の上海美特カーテンウォール社を2016年3月に売却しました。

### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



主力商品として意匠性と機能性を向上させたシステムキッチン「リシェルSII」(写真)を新発売するなど拡販を行った結果、日本事業は増収でしたが、中国のハイアールとの合併事業は現地経済の減速などの影響があったため、部門売上高は前期比0.4%の減収となりました。営業利益は、前期に2014年2月の雪害による費用増があったことなどから黒字転換しました。

### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



## セグメント情報

### 流通・小売り事業

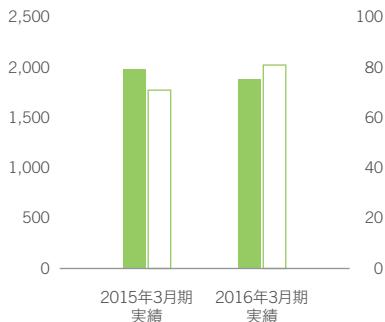


ホームセンター事業では売上高は2.8%増で11期連続増収となりました。当期は仙台中山・名古屋南(写真)・和泉中央の3店のスーパービバホームを新規出店し、期末店舗数は86店となりました。流通小売り事業全体では、2015年10月に建デポ事業を分社化した影響で売上高は5.1%の減収となりましたが、営業利益はPB(自主企画)商品の売上構成の増加や物流費の削減により、13.7%の増益で最高益を更新しました。

#### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



### 住宅・サービス事業等

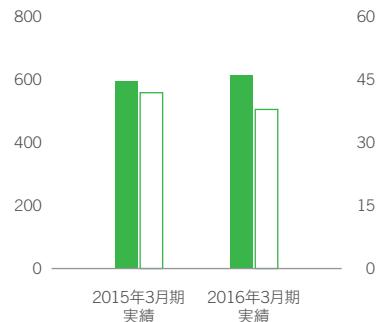


各社が受注促進や販売活動の強化に注力したことなどから、売上高は3.4%の増収となりましたが、販売用不動産で評価損を計上したことなどから営業利益は9.8%の減益となりました。LIXIL住宅研究所は本田技研工業(株)と共同で、「家+自動車」として提案する、日本初の燃料電池自動車対応の普及型住宅「次世代レジリエンスホーム『家+X』Powered by Honda」のモデルハウス(写真)を公開し、大きな反響をいただきました。

#### 売上高・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高(左軸)  
□ 営業利益(右軸)



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日 上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL: <a href="http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/">http://www.lixil.com/jp/investor/electronic_public/</a>
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711 (通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

### 【お知らせ】

1. 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711 [通話料無料])にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

### お問い合わせ先

#### 株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711(上記「株主メモ」ご参照)

LIXILグループ：03-3638-9300

#### 本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

#### 株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。

受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

■ サッシ、ドア、エクステリア、タイル商品 ☎0120-126-001

■ トイレ、化粧台、浴室商品 ☎0120-179-400

■ キッチン商品 ☎0120-190-521

## アンケートにご協力ください

株主通信を手にとっていただきありがとうございます。株主の皆さまのご意見を今後の活動の参考とさせていただきます。同封のハガキに必要事項と、下記およびハガキに記載の設問に対する回答をご記入の上、2016年7月22日までにご投函ください(当日消印有効)。ご回答くださった方には、LIXILの2017年版カレンダー(卓上またはタイルカレンダー、どちらか1つ)を進呈いたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートご回答の方に  
カレンダーをプレゼント!



※カレンダーの写真は2016年版です。実際には2017年版をお送りいたします。



### カレンダーのサイズ(どちらも紙製)

左: タイルカレンダー(壁掛けタイプ) 約39.5×39.5(cm)

右: 卓上カレンダー 約15×18(cm)

### → 応募方法

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」に回答をご記入の上、「個人情報保護シール」を所定の位置に貼付してご投函ください。プレゼントの発送は12月中旬を予定しております。

Q1

当社株式を取得されたきっかけをお聞かせください。(2つ)

1. 会社四季報・日経会社情報
2. 新聞・投資情報誌等
3. 証券会社の推奨・分析ツール
4. 個人投資家説明会
5. 当社CM・広告
6. 当社ホームページ
7. 当社ホームページを除くインターネット情報
8. 株主優待制度
9. 知人・友人・家族の紹介
10. 当社製品を利用
11. 当社のファン
12. 当社従業員(元従業員)
13. 当社お取引先(元取引先)さま
14. 相続・贈与
15. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

Q2

当社株式を購入された際、最も重視されたことは何でしょうか。(1つ)

1. 将来性・成長性(値上がり益期待)
2. 業績の安定性
3. 財務体質・健全性
4. 株主還元
5. 配当利回り
6. 株主優待制度
7. 株価の割安感
8. 経営者
9. 当社のファン
10. 経営戦略・事業内容
11. 知名度・ブランド
12. 当社関係者・取引先等
13. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

同封の「株主さまアンケート回答用ハガキ」に必要事項をご記入の上、  
7月22日までにご投函ください(当日消印有効)。

**Q3** 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つ)  
また、買い増しのご意向がある株主さまは、数字の記入に加え、ハガキ回答欄右にある「買い増し意向」にも  をご記入ください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 1年未満        | 2. 短期(1年～3年未満)   |
| 3. 中期(3年～5年未満) | 4. 長期(5年以上)      |
| 5. 売却しない       | 6. 売却済み(一部売却を含む) |

**Q4** 今回の株主通信の全体の印象(サイズ、ページ数、文字の大きさなど)についてお聞かせください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 良い         | 2. どちらかといえば良い |
| 3. どちらかといえば悪い | 4. 悪い         |

**Q5** 当社は2014年9月より、株主優待制度を変更しました。株主優待制度の評価をお聞かせください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 良い         | 2. どちらかといえば良い |
| 3. どちらかといえば悪い | 4. 悪い         |

**Q6** 当社ホームページのご利用状況で最も近いものはどれでしょうか。(1つ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 1か月に1回以上  | 2. 3か月に1回程度 |
| 3. 半年に1回程度   | 4. 1年に1回程度  |
| 5. 利用したことはない |             |

**Q7** Q6で1.～4.とご回答された方にお聞きします。閲覧した目的は何ですか。(いくつでも)

1. 当社の情報を調べるため
2. 経営方針や事業計画を知るため
3. 当社グループ各社の情報を知るため
4. IR資料(含む決算情報)を見るため
5. 個人投資家向け情報  
(イベント、株主優待など)を調べるため
6. その他 [内容を回答欄にご記入ください]

**Q8** 当社へのご意見・ご感想などがございましたらご自由にご記入ください。

※集計の都合上、個別のお返事はできませんので、ご了承ください。個別のご対応が必要な事項については、P18「お問い合わせ先」までご連絡ください。

## 株式の状況(2016年3月31日現在)

### 株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000株
発行済株式の総数(自己株式26,046,892株を除く)	287,007,363株
株主の総数	44,890名

### 大株主

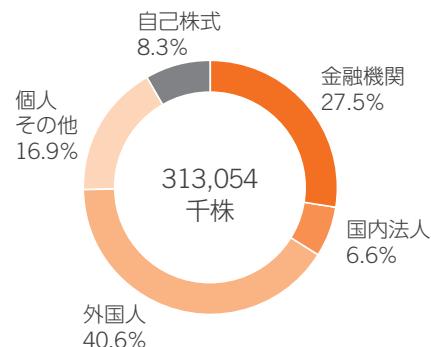
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	9,154 <sup>*</sup>	3.19%
野村信託銀行(株)信託口	8,896 <sup>*</sup>	3.10%
日本スタートラスト信託銀行(株)信託口	8,381 <sup>*</sup>	2.92%
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS (常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行)	7,063	2.46%
LIXIL従業員持株会	6,596	2.30%
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	6,561	2.29%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	6,373	2.22%
(株)三菱東京UFJ銀行	5,798	2.02%
(株)三井住友銀行	5,543	1.93%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部)	5,300	1.85%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式 26,046千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. ※はすべて信託業務に係るものです。

3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。

### 所有者別分布状況



金融機関	86,075千株
国内法人	20,735千株
外国人	127,220千株
個人その他	52,975千株
自己株式	26,046千株
合計	313,054千株

### 免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

# 会社概要

## 会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,121百万円
決算期	3月31日
従業員数	58名(連結従業員数 58,889名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境 関連事業を営む会社の株式または 持分を取得、所有することによる当該 会社の事業活動の支配、管理を行って おります。

## 執行役 (2016年6月15日現在)

代表執行役社長兼CEO	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	川本 隆一
執行役副社長	八木 洋介
執行役副社長	松本 佐千夫
執行役副社長	井植 敏雅
執行役副社長	白井 春雄
執行役専務	ローレンス・ウィリアム・ペイツ
執行役専務	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ

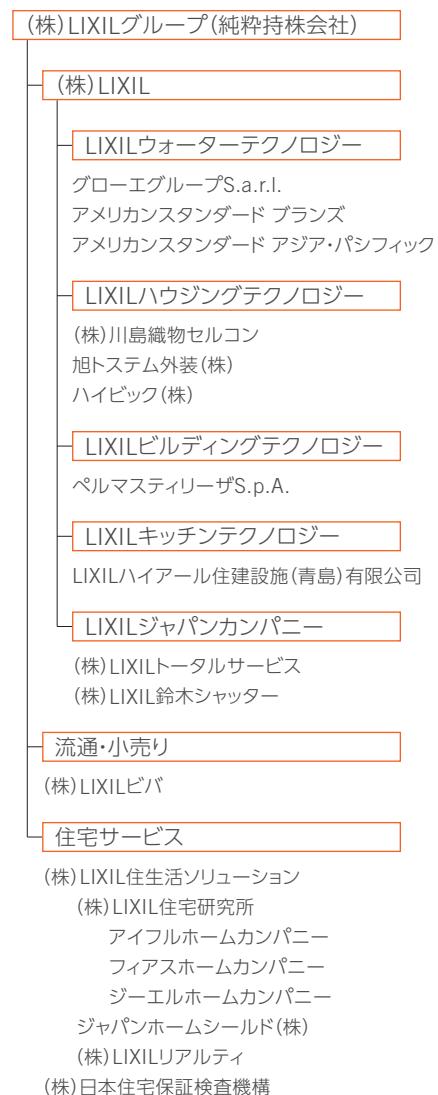
## 取締役 (2016年6月15日現在)

取締役	潮田 洋一郎
取締役	瀬戸 欣哉
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	川本 隆一
取締役	井植 敏雅
取締役	伊奈 啓一郎
社外取締役	佐藤 英彦
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	パーバラ・ジャッツ
社外取締役	山梨 広一

## 委員会構成 (2016年6月15日現在)

<指名委員会>	委員長	佐藤 英彦
	委員	潮田 洋一郎
	委員	山梨 広一
<監査委員会>	委員長	川口 勉
	委員	佐藤 英彦
	委員	金森 良純
<報酬委員会>	委員長	山梨 広一
	委員	幸田 真音
	委員	パーバラ・ジャッツ
	委員	菊地 義信
	委員	金森 良純

## 主なグループ会社・事業



# 株主優待のお知らせ

株主の皆さまのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆さまに事業に対するご理解を一層深めていただくことを目的として、株主優待を実施しています。

2015年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、昨年11月末に「株主優待制度ご利用ガイド2015-16」と「リフォーム株主優待申込書」をお送りしています。皆さまの株主優待のご利用をお待ちしています。

※株主優待の書類の再発行はいたしておりません。ご了承ください。

## リフォーム株主優待 「対象LIXIL商品」追加のお知らせ

2つの新商品を追加しました。

- キッチン「リシェルPLAT」(2016年4月発売)
- 「ソーラーパネル デイズ」(2016年6月発売)



株主優待のお申し込み期限は、  
2016年10月31日(月)となっています。

## ▶ リフォーム株主優待

対象LIXIL商品を使って工事が完了し、10月末までに請求書が発行されたリフォーム工事が対象です。

10月31日(当日消印有効)までに必要書類とともに「リフォーム株主優待申込書」を投函してください。

工事金額に応じて3万円・5万円・10万円のいずれかの金額の商品券を、お申し込みの約2カ月後にお送りします。

## ▶ 生活サービス株主優待

10月31日までに「くらしテルコールセンター」にお電話でお申し込みください。サービス実施は2016年12月31日(土)までとさせていただきます。

### サービス内容

当社の関連会社(株)くらしテルが提供する下記メニューのうちいずれか1種類について、税込価格から3,000円の割引をします。割引券は「株主優待制度ご利用ガイド2015-16」の巻末にあります。

- (1) ハウスクリーニング (エアコン・換気扇・キッチン・バスルーム等8種類の中から1つ)
- (2) ふとん丸洗いクリーニング
- (3) 9カ月保管付き衣類クリーニング

生活サービス株主優待  
お申し込み・お問い合わせ先

くらしテルコールセンター ☎0120-881-506  
📄 <http://www.881506.com>

## 株式会社 LIXILグループ

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号  
本社事業所 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階  
ホームページ : <http://www.lixil.com/jp/>

表紙、P01-02、P09-10、P15-16、裏表紙の製品及び  
施工例写真は(株)LIXILの著作物です。